

# 2017 年度卒業論文提出予定者へ

中央大学 文学部 社会情報研究室 (2016. 11)

## 卒論の基準について

卒業論文は、大学での勉学・研究の総まとめと位置づけられます。情報探索・批判的読解・調査分析・執筆など様々な力を養う概念であり、簡単には書けないということが書き終えてはじめてわかるものです。

卒論の提出期限は絶対です。一分の遅れも許されません。一分の遅れで一年待ったひとも過去にいます。ぎりぎりになって、製本もなされていない原稿を事務室に持ちこみ、かろうじて提出したような卒論は、内容も不十分な場合が多く、実際に不合格になっています。提出前日にプリンターが故障したり電車が遅れたりという学生もこれまでたくさんいます。必ず、余裕をもって提出できるように努力してください。

卒論は提出しただけでは合格となりません。口述試験の場で、自ら書いた論文についての理解が問われ、質問に答えてはじめて評価を受ける権利を獲得します。口述試験は、主査・副査の教員、口述試験を受ける社会学・社会情報の学生、室員など、研究室のスタッフ・学生が総出で行う一大事業です。膨大な人数が厳しい時間管理のもとに動かねばなりませんので、欠席はもちろんのこと、遅刻は絶対に厳禁です（過去に遅刻によって多大な迷惑をかけた学生がいますが、論文の内容も不十分なものでした）。

卒業論文には、①独自の問いを切り出せているか、②この問いを解き明かすために依拠すべき理論を真摯に学び、わがものとしているか、③研究課題にふさわしい調査・探求の方法を採用し実施しているか、④自分が収集した資料やデータを読み解き・分析しているか、などが求められます。

学生生活の総決算である卒業論文の審査は、当然のことながら厳しいものとなり、下記のようなものは不合格となります。不合格とならないように、社会学・社会情報学の研究室にて配布される「卒業論文作成の手引」を参考にして、指導教員からきちんとしたアドバイスをもらったうえで、自ら考え、学び、調べ、くりかえし書き直しをして作品としての完成度を高めるように、出来るだけ早くから執筆の準備を開始してください。卒業できずに、あとで後悔することのなきようくれぐれもお願いします。

(1) 「剽窃」（インターネットや本からのほぼ全文をそのまま断り書きなしに引き写す）は、もっともしてはいけないことで、嚴重注意の上で無条件に不合格となります。その他、他者のもの（本などからの要約や、他者が行った調査結果など）を出典・引用箇所・頁を些細に示さずに自分の文章と混在させているもの、出典を示したとしても、わずか数冊の本を切り貼りしてその内容をただ羅列しているだけのものも、不合格となります。引用・注の正しい仕方については、必ず「卒業論文作成の手引」を参考にして、指導教員の指示に従ってください。

(2) 下記の場合も、卒論として認められない場合があります。「卒業論文作成の手引」をよく読み、ひとに読んでもらえて、しかも納得してもらえる作品となるように注意してください。

①論文作成に際して指導教員からアドバイス（少なくとも5回以上は必要）を受けずに書いてしまったもの、せっかくアドバイスを受けてもそれに応えようとしなかったもの。

②形式的要件（注、参考文献、引用箇所の銘記、枚数、誤字脱字のチェック、きちんとした印刷・レイアウトなど）を満たしていないもの。

③序から結論までの章立ての必然性、全体的な論旨の一貫性が極度にないもの。

④調査をして卒論を書く場合に、調査概要（いつどこでどのような形で、いかなる方法によって実施したかなどについての説明）を欠くもの。またフィールド調査の場合には日誌、インタビュー調査の場合には調査記録、アンケート調査の場合には調査票などが添付されていないもの。

以上

**「提出における注意事項」は裏面を参照してください。**

## 提出における注意事項

# 2017年度卒業論文提出予定者へ

中央大学文学部 社会情報学専攻 (2016.11)

### <卒業論文の提出について>

- \* 卒業論文として提出するものは、プリントアウトし製本したもの2部 (原本と複本)、及び、電子データを記録した電子媒体 (CD-ROM、CD-R、DVD など) 1部である。原本は文学部事務室に、複本及び電子媒体は社会情報学研究室に提出すること。原本、複本、及び電子媒体すべての提出をもって、卒業論文提出が完了したこととなる。どれか一つが欠けた場合、卒業論文提出は認められない。
- \* 卒業論文は、パソコンのワープロソフトなど文書処理ソフトによって作成したものとする。手書きによるものは、原則として認められない。卒業論文の表紙は、上から見て、履修年度 (2017年度)、題目、専攻・コース、学籍番号、氏名、提出日、指導教員名が必ずわかるようにすること。
- \* 製本については、社会情報学専攻指定のファイルを中大生協で購入し、社会情報学研究室、または中大生協にある製本機で作業を行うことを推奨する。  
(卒業論文提出日は混み合うので、前日までに製本しておくことが望ましい)
- \* プリントアウトしたものと同一の内容・レイアウトのものを、電子媒体 (CD-ROM、CD-R、DVD など) に記録保存して社会情報学研究室に提出すること。なお、コピーや手書きなどの図表についても、スキャナーまたは図形ソフトによって電子化すること。

### <電子媒体 (CD-ROM、CD-R、DVD など) の提出における留意点>

- \* 電子媒体上のレイアウトは、プリントアウトされたものと同じものとする。すなわち、見出し、文字種、書式、頁付け、図表の挿入などが同じように編集レイアウトされたものである。
- \* 電子媒体は、提出前に必ず動作確認を行うこと。
- \* 電子データの作成においては、ワープロソフトなど文書処理ソフトウェアを使用すること。その処理内容は、図書文献の編集レイアウトに準拠したものが条件となる。なお、HTML、XMLなどWeb文書処理化されたものは、原則的には受理されない。ただし、卒論内容によっては例外が認められる場合がある。
- \* 電子媒体の提出物 (CD-ROM、CD-R、DVD など) には、表面に油性インクを使用して以下を記録する。なお、プラスチック製ケースに入れて提出すること。
  - 1) 年度
  - 2) 学籍番号
  - 3) 氏名
  - 4) 卒論タイトル
  - 5) 作成ソフトウェアの名前 (例. MS Word、Mac Word、その他文書処理ソフトなど)
  - 6) 記録 (保存) ファイル名
  - 7) 提出日
  - 8) 指導教員名

以上